

## 東北グランマのクリスマスオーナメント プロジェクト

### 【プロジェクトの概要】

東日本大震災は、東北地方を中心に甚大な被害をもたらし、多くの命、財産、そして仕事を奪い、人々の生活を今も脅かしている。沿岸部で漁業や衣料の製造に携わる女性たちもまた一瞬にして何十年も毎日続けてきた「仕事」を失った。不安と孤独を抱える人々が日常を取り戻すために「日々の仕事」を創りだす、手を使い、会話を楽しみ、一生懸命ものを作る、それが生活の糧となり、明日に生きる喜びの源となる。結結プロジェクトの実行委員でもある株式会社アバンティ渡邊智恵子さんのそうした思いから、グランマオーナメントプロジェクトが生まれた。

2011年6月より「被災地雇用創出」を目的としてスタートした「東北グランマの仕事づくり」。オーガニックコットン製品の製造過程で出る残布を活用して、クリスマスオーナメントが製作された。イベントでの販売や結結プロジェクトの実行委員や支援企業様の協力もあり、結果として、初年度は25,000個を完売し、約800万円の工賃が約50名のグランマに支払われた。しかし、翌年は8,000個と初年度の約3分の1。この数字は、私たちの記憶の風化を示しているかもしれない。

アバンティは、被災地のグランマと同じ目線で10年、そして20年と寄り添い、復興の力とすべく「東北グランマの仕事づくり」を続けている。はじめは3カ所から始まったプロジェクトも、現在では8カ所に拡大。各地で、得意分野を生かした手しごとを行っている。

